

# 組織的な取り組みによる 運動意欲の向上

大分県豊後大野市立三重第一学校

全校児童数	318名(男子162名 女子156名)		
全クラス数	15	教職員数	35名
体育担任制専科教員名			赤嶺 淳也

## Plan：取組時の課題と計画

### 1 取組時の課題

#### ◆体力・運動能力、運動量の差

- ・跳躍力(瞬発力)「たち幅とび」、柔軟性「長座体前屈」、走能力(スピード)「50m走」が身についている。
- ・筋力(握力・上体起こし)が身につけていない。
- ・DE層の割合は2024年度12%と改善傾向である。

#### ◆放課後や休日の運動習慣

- ・社会体育で運動をしている児童としていない児童の運動実施時間の2極化がみられる。

#### ◆運動意欲

- ・今年度2学期アンケート「体を動かすことが好き」と肯定的に回答する児童90%(1学期より1%増)。

### 2 取組の計画

#### ①体育授業の充実

- ・学習カードやICT資料、掲示物の作成・掲示
- ・異学年交流体育の実施・同一単元期間の設定

#### ②校内の体育授業改善

- ・各担任、授業者への指導や助言、還流

#### ③1校1実践の実施(家庭との連携)

- ・「家族ふれあいスポーツデー」の実施

#### ④体育備品、環境の整備

#### ⑤プロジェクトでの取り組み

- ・健康についての体育集会・保健集会を実施、「保健だより」等で啓発(食育・睡眠・運動などの生活習慣)

## Do：実践内容

### 1 体育授業の充実

#### (1) 学習カードやICT資料、掲示物の作成・掲示

- ① 技の動画や動きのポイント、振り返りアンケートなどの資料をロイロノートで作成し活用した。
- ② 単元の導入で、動画で内容やポイントを紹介し、学習カードなどをロイロノートで作成した。

#### (2) 主運動につながる補助運動の実施・場の工夫

けがの予防と、運動が苦手な子どもたちが安心して運動を楽しめるように、スモールステップで場を設定し、段階的に主運動につなげていった。

#### (3) 体育ファイル・タブレットの活用

学習のめあてや計画を示した学習シートを配布し、経年の積み重ねをすることで、個人の伸びの確認やめあての設定に役立てた。

#### (4) 異学年交流体育の実施・同一単元期間の設定

各単元に1時間程度、1年生と6年生などの異学年交流体育を実施し、教え合いの活動を設定した。また、跳び箱などの単元では、準備片付け短縮のために、取り組み期間を設定して実施した。

### 2 校内の体育授業改善

各担任とTT指導の時間を設定し、具体的な場や授業の展開についてアドバイスした。

### 3 1校1実践の実施(家庭との連携)

#### (1) 「家族ふれあいスポーツデーの実施」

週末に「家族ふれあいスポーツカード」を配布し、休日に家族で運動する機会を設けた。(年6回)

### 4 体育備品、環境の整備

- (1) 一輪車の空気入れ・サドルの調整をこまめに行った。また、運動の機会を保障し、技能の習得を図るためにセストボール用ゴール、鉄棒練習器、大型のフラフープ、ラインカーを購入した。
- (2) 子どもたちが自分たちで用具を出し入れできるように、置き場や収納の工夫をした。

### ●工夫したこと(&苦労した点)

- ① ICT資料の作成や一人一台のタブレットを記録や振り返りで活用した。
- ② 異学年交流学習を適宜取り入れ、子どもどうしの教え合い学び合いの多い体育学習に努めた。
- ③ 運動量の確保と発達段階を踏まえた指導内容、苦手な児童への配慮に視点を置き、教材教具や場の工夫を行なった。
- ④ 複数学年で同じ内容の単元を構成することによって、道具の準備・片付け、掲示物、異学年での教え合いなどがより効果的になった。(日課表の工夫)

## Check：取組の成果

- ① 教材教具・場の工夫、補助運動(掲示)の充実により運動量を増やすことができた。
- ② 学習カードやタブレットを有効に活用し、学習のめあてや技のポイントを意識した授業が実践できた。
- ③ 体育備品・環境の整備を行ったことで、体育授業での運動量の確保はもとより、休み時間等に進んで運動をする児童が増えた。
- ④ 異学年交流体育を行ったことで、教えられる子どもは、モデル・アドバイスとやる気と技能の向上など効果があり、また教える立場の子どもも、自らの動きやポイントを言語化するなど深い学びにつながった。

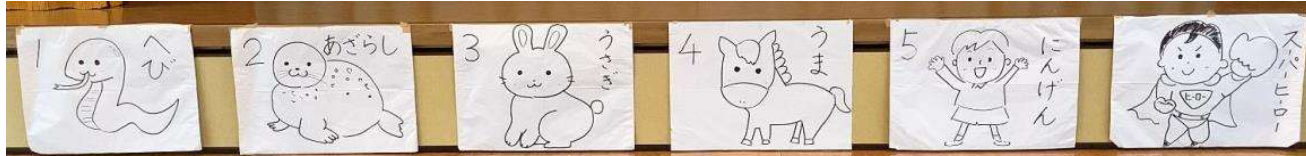
## Action：今後の課題

- ① 様々な単元でのICT活用
- ② 各単元の時間数の確保
- ③ 5・6年の教科担任制における担任との共通理解

### ◎体力向上の取組がもたらす波及効果

- ・運動習慣が身につく。
- ・運動好きな児童や、外で遊ぶ児童の増加につながる。
- ・学び合い教え合いが増え、良好な集団づくりにつながる。

### 運動好きな子どもが増えるような体育授業



### 異学年交流体育



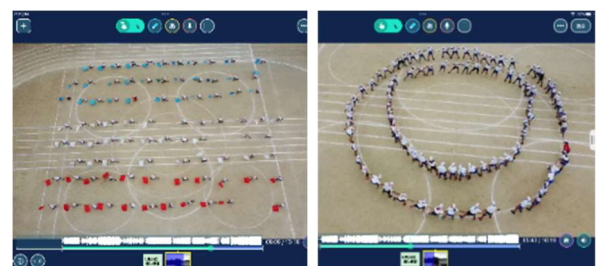
### ICT の活用



とび箱

11月20日      11月21日      11月日

①助走とふみきり (ゆかいジャンプと曲足ドンク)      😊 😊 😊 😊  
 ②手つき (そろえて&前に)      😊 😊 😊 😊  
 ③腰を高く (上体が並行)      😊 😊 😊 😊  
 ④安定した着地      😊 😊 😊 😊



ドローンを活用した運動会の表現運動の映像

三重第一小「家族ふれあいスポーツデー」カード

家族と一緒に運動をして、体力をつけて健康になりましょう!

( )年( )組( )番 名前( )

第4回 11月2日(土)～11月10日(日)

家族で「力だめしの運動」をやってみよう!

1. おしりバランス      2. うでたてくるくる      3. うでずもっ

家族と一緒に楽しむのりへんた様子が記入されている。

季節や体育の学習内容にもあわせて計画

「家族ふれあいスポーツデー」(全6回)【1校1実践】